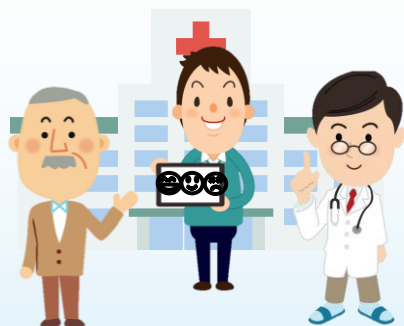
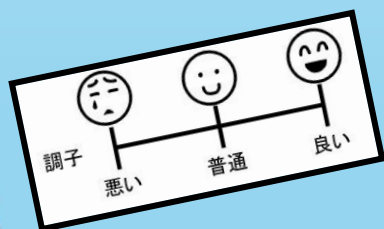




失語症の人との コミュニケーション支援 ガイドブック



も く じ

1 はじめに	P.2
2 失語症とは	P.3～7
(1) 言語によるコミュニケーションの難しさ	
(2) 原因と経過	
(3) 話すことの障がい	
(4) 理解の障がい、読み書きの障がい	
(5) 重症度	
3 失語症と間違われやすい障がい	P.8
4 失語症の人への対応	P.9～18
(1) 概略	
(2) 適切な会話の態度	
(3) 理解を補う対応	
(4) 要点を書く際のポイント	
(5) 表出を補う対応	
(6) 話の内容確認	
5 失語症の人への生活支援	P.19～22
(1) 家族・友人	
(2) 仕事	
(3) 外出	
6 失語症の人たちが集まる会	P.23～26
(1) さっぽろ失語症カフェ	
(2) 北海道失語症友の会「北の会」	
(3) アカシアの会	
(4) 失語症者と家族の為のこみりハ教室	
7 失語症者向け意思疎通支援者の派遣	P.27～28
8 失語症の人の思い	P.29

1. はじめに

失語症とは、脳の病気によって起こる言葉の障がいです。

コミュニケーションは私たちが生活するうえで重要な要素ですが、失語症になると話したり、聞いたり、読んだり、書いたり言葉を使ったコミュニケーションが難しくなります。

失語症は目に見えない障がいであり、麻痺などのように一見してわからない障がいなので、周囲の人たちに理解されにくいです。また、障がいを持った本人も周囲も失語症についての知識がないために、誤解されて孤立してしまうことがあります。

周囲の人たちが、失語症についての支援方法や社会制度を知ること、失語症の人とのコミュニケーションがスムーズになり、失語症の人たちは生活しやすくなるのではないのでしょうか。

市民の皆様や、ご家族に失語症の人がいる方には、このガイドをご覧になることで少しでも失語症について知っていただきたいと思います。

2 失語症とは: (1) 言語によるコミュニケーションの難しさ

コミュニケーションとは、社会生活を営むうえで重要な情報伝達の手段であり、人はコミュニケーション手段として『言語』をよく使っています。

脳卒中など脳の病気が原因で生じる言語障害を『失語症』と言います。失語症になると、病前と同じように言語を使えなくなり、「話す」「聴く」「読む」「書く」「計算」が難しくなります。そのため、言語によるコミュニケーションが難しくなり、自分の考えや思いを相手に十分に伝えられなくなります。



失語症の人が難しいこと

言語を使ったコミュニケーション



話す⇔聴く



読む⇔書く

他にも、

- ・感情が不安定になる
- ・疲れ易い
- ・長い間集中できない
- ・同じことを繰り返す
- ・頭が混乱することがある



失語症の人ができること

言語を使わないコミュニケーション



ジェスチャー



表情

他にも、

- ・状況判断は良好である
- ・社会的礼節は保たれる
- ・適切な感情表現ができる
- ・時間、場所はわかる

2. 失語症とは: (2) 原因と経過

原因

失語症は、左側の脳の病気が原因となります。脳には左側と右側があり、左側の脳に言語機能があります。左側の脳が働くことで、言語によるコミュニケーションができます。



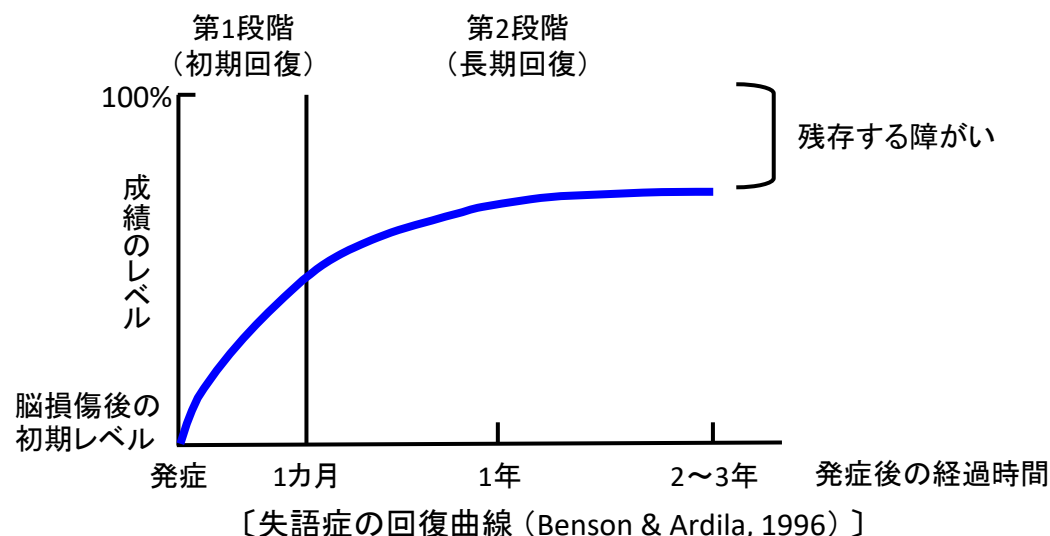
<原因となる脳の病気>

脳梗塞
脳出血
くも膜下出血
頭部外傷(事故など)
てんかん
脳腫瘍など



経過

失語症は、脳卒中などの発症時から長期にわたり回復するといわれています。しかし、障がいが残る場合もあります。その際には、周囲のサポートが必要です。



2. 失語症とは: (3) 話すことの障がい

言葉を言えない時の状況

①

失語症の人

②

見た物が何であるかはすぐにわかる

③

脳の中から適切な名前を選べない

④

実在しない名前や別の名前に言い誤る

話せない時の状況

赤い...服...セーター...大きさ...

失語症の人

文章で話せない

「あれ」が欲しいです。最近、寒いからふかふかな「あれ」です。あ〜うまく言えない。

失語症の人

伝えたい言葉が出てこない

2. 失語症とは: (4) 理解の障がい、読み書きの障がい

言葉を理解できない時の状況

①

失語症の人

長い文章を理解できない

②

失語症の人

誤った理解で行動してしまう

文字で書かれた内容を理解できない時の状況

写真や見出しはわかるけど内容がわからない

失語症の人

文章の意味を理解できない

スタンプはわかるけど意味がわからない

失語症の人

書かれた文字の意味を理解できない

文字を書けない、入力できない時の状況

アンケートにご記入ください

失語症の人

文字を思い出せない

自分の名前は書けるけど入力できない

失語症の人

パソコンでの文字入力ができない

2. 失語症とは:(5)重症度

失語症の症状や重症度は、脳の傷ついた部分や、傷の大きさによって、異なります。そのため、症状は一人ひとり違います。

軽度

日常会話であれば、概ね自分の言いたいことを伝えられます。聞き手は言葉が出るまで待ったり、言いたい言葉について多少の推測が必要です。

中等度

日常会話において、一部自力で伝えられますが、不十分なことが多いです。聞き手の誘導や推測が必要です。

重度

自分から話したり書いたりすることは困難で、コミュニケーションが難しいです。聞き手が失語症の人との会話を円滑に行えるように支援することが必要です。

補足: 失語症の世界

失語症とは、言葉の知らない国に行った時の状況に例えられます。



3. 失語症と間違われやすい障がい

コミュニケーションが難しい障がいは、失語症以外にもいくつかあります。それぞれの障がいの違いを知っておくと、失語症の人への適切な支援が可能です。

認知症

認知症では、記憶や注意力、視覚、聴覚、言語など複数の認知機能の働きが弱くなります。そのため、少し前の出来事を忘れたり、帰り道がわからなくなったり、辻褄の合わない会話になることが増え、日常生活が難しくなります。失語症は言語以外の認知機能が保たれているところで認知症とは異なります。言語以外で日常生活で困っているかどうかを確認するポイントです。

聴覚障がい

聴覚障がいの方は、言語機能に障がいはないので、伝えたい内容を視覚情報で伝えるとコミュニケーションが取れます。文章でも大丈夫です。聴覚障がいの方は、失語症の方とは異なり、「読む」「書く」「計算」に問題はありません。

視覚障がい

視覚障がいの方は、言語機能に障がいはないので、伝えたい内容を音声で話すと伝わります。視覚障がいの方は、言語機能に障がいはないので、「話す」「聴く」「計算」に問題はありません。

4. 失語症の人への対応:(1)概略

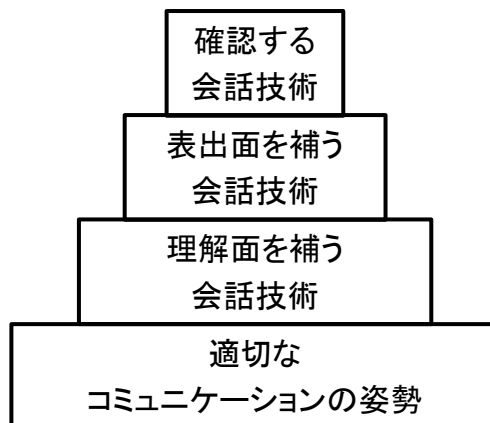
失語症の人は、言葉によるコミュニケーションに不安を感じています。話し相手が適切に対応してくれると、その不安が小さくなります。失語症の人と話すときには、以下の内容を意識しましょう。

失語症の人が望む対応

- 自分の話を心から聞こうとしてくれる。
- ゆっくり待っていて、会話のテンポ合わせてくれる。
- 表出・理解が成功したときに一緒に喜んでくれる。
- 適宜、会話内容を本人に確認してくれる。
- 表情や身振り、絵、写真、図、メモで伝えてくれる。
- 単語でメモを書き、見せながら伝えてくれる。
- 短く、分かりやすい言葉で伝え、長々と話さない。
- 身振りをつけながら伝えてくれる。

失語症の人と会話する際の重要ポイント

適切なコミュニケーションの姿勢が土台となり、理解できることで、適切な意思表示が可能です。そして、失語症の人は、言葉を言い間違えたり、聞き間違えることがあるので、会話内容に齟齬が生じていないか確認しながら、会話することが重要です。



4. 失語症の人への対応:(2)適切な会話の態度

失語症の人は、周囲に会話ができない人と思われていることを敏感に感じています。失語症の人に話し相手として信頼してもらえると会話がスムーズになります。相手のことを考える以下の会話態度が重要です。

1. 対等な立場での会話
2. 落ち着いた雰囲気・環境での会話
3. お互いの表情がみえる会話

1. 対等な立場での会話

失語症の人は、周囲の雰囲気や状況を理解することができます。失語症の人と対等にお話ししましょう。

2. 落ち着いた雰囲気・環境での会話

失語症の人は、あわただしい雰囲気や焦らされると、言葉がよけいに出なくなったり、聞き間違えたりします。静かな・落ち着いた雰囲気の中で会話をしましょう。



3. お互いの表情がみえる会話

言葉だけではなく、表情も重要なコミュニケーション手段です。



4. 失語症の人への対応：(3)理解を補う対応

失語症の人は、相手が話す言葉を十分に理解できないことがあります。その時には、以下の対応で理解しやすくなります。

1. ゆっくり話す。言葉を区切る。
2. 短く、簡潔にわかりやすく伝える。
3. 他の言葉で言い換える。
4. 要点を単語(よく見かける表記)で書く。
5. 視覚情報(絵、身振り、実物)を使う。
6. 話題を急に変えない。

1. ゆっくり話す、言葉を区切る
2. 短く、簡潔にわかりやすく伝える

失語症の人は、次々と言葉を言われると、理解しきれないことが多いです。ゆっくり、短く、簡潔に、言葉を区切って話してくれると、理解しやすいです。

昨日の夜にデパートの
10階でステーキを食べた
後に、ホラー映画を見に、
映画館に行きました。

昨夜、デパートで、
ステーキを食べて、
ホラー映画に行きました。

3. 他の言葉で言い換える

理解できない言葉とは別の表現で聞くと理解できることがあります。

体調はどうですか？

体の具合はどうですか？

誕生日はいつですか？

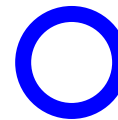
何年生まれですか？

4. 要点を単語で書く

失語症の人は、要点を単語で端的に示すと理解の助けになります。
※文章で書くと分かりにくいです。



大通公園でホワイトイル
ミネーションが始まり
にぎわっています。
ミュンヘンクリスマス市
も開催されていて12月25
日まで行われています。

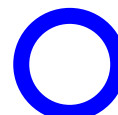


大通公園 (イベント)
12月25日迄
イルミネーション
&
ミュンヘンクリスマス市

漢字を中心として、よく見かける表記で書きます。
※普段見かけない表記で書くと分かりにくいです。



にしくのけーきや
おすすめ
・ちょこれーと
・くりーむちーず
・しなもん



西区のケーキ屋
お勧め
No.1 チョコレート
No.2 クリームチーズ
No.3 シナモン

5. 絵を描く、身振りをする、実物を見せる

視覚的な情報は理解を助けます。

富士山を見てきました。
きれいでしたよ。

失語症の人

これですよ

富士山か！

失語症の人

実物を見せた方が理解できます

支払方法

カードは
使えない

失語症の人

絵でみると理解しやすいです

静かに
しよう

失語症の人

ジェスチャーも理解できます

6. 話題を急に变えない

会話の途中で、急に話題が変わると混乱してしまいます。
話題を変える時は、話が変わることを“はっきり”と失語症の人に
伝えましょう。

動物園

水族館

左では動物園の話をしていた。話題を右の水族館の話に変えた際に、視覚的情報を変化させて、話が切り替わったことをはっきりと伝えます。

4. 失語症の人への対応：(4) 要点を書く際のポイント

失語症の人は、文字や記号、絵、図を示すと会話がスムーズに行えます。視覚的に直感的にわかるように書く・描くと効果的です。

文字で伝える時のポイント

- ☐ タイトルを書く
- ☐ 箇条書き
- ☐ 記号(矢印、マークなど)
- ☐ 単語で書く
- ☐ よく見る文字で書く。

※文章では書かない！
※直感的にわかるように！



ほっかいどうりょうこうに
8月5日(日)～9日(木)の
間で、4泊5日で行きます。
カゾク4人で行きます。
ひこうきで行って、
レンタカーをかります。
おんせんもありますよ。



北海道旅行
8月5日(日)～9日(木)
4泊5日
家族 4人
飛行機 → レンタカー
温泉



8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

北海道旅行

太郎 良子 達郎 里帆

4. 失語症の人への対応：(5) 表出を補う対応

失語症の人は、自分が言いたい言葉と言えない時があります。その時には、以下の対応で話しやすくなります。

1. 先回りせずに待つ。
2. 「はい」または「いいえ」で答えられる質問をする。
3. 選択肢を提示して選んでもらう。
4. 絵を描く、身振りなど非言語的手段を活用してもらう。

1. 先回りせずに待つ

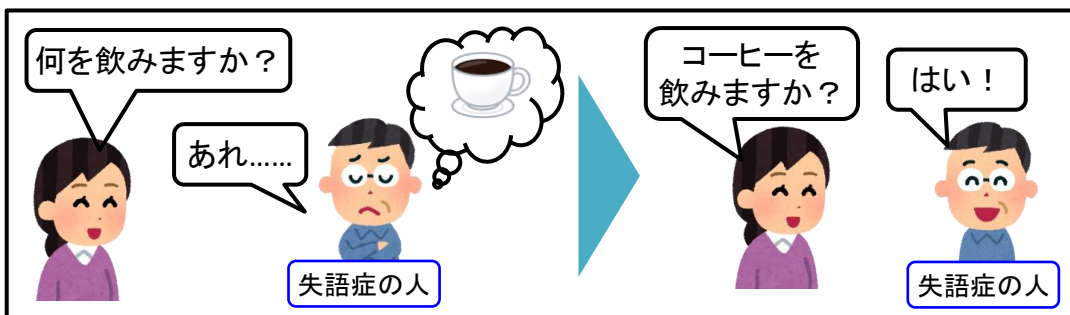
失語症の人は、言葉がスムーズに出てきませんが、待っていると言葉が出ることがあります。一方的に話しかけたり、質問攻めにならないように、気をつけましょう。沈黙を恐れる必要はありません。

【場所：デパート】

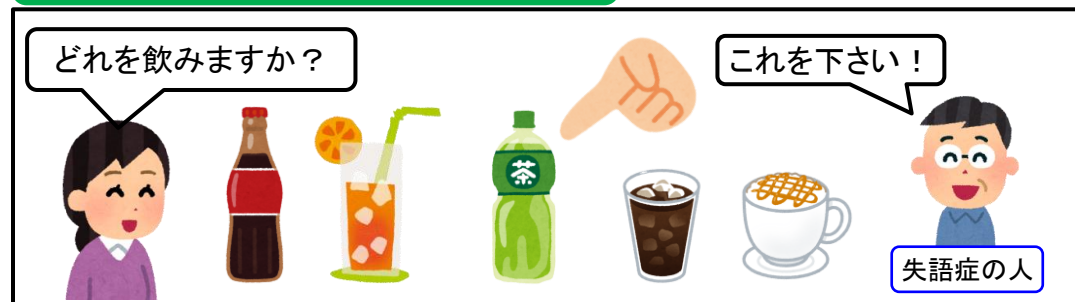


2. 「はい」または「いいえ」で答えられる質問をする

言葉で答えるのではなく、2者択一の質問だと、答えやすいです。



3. 選択肢を提示して選んでもらう



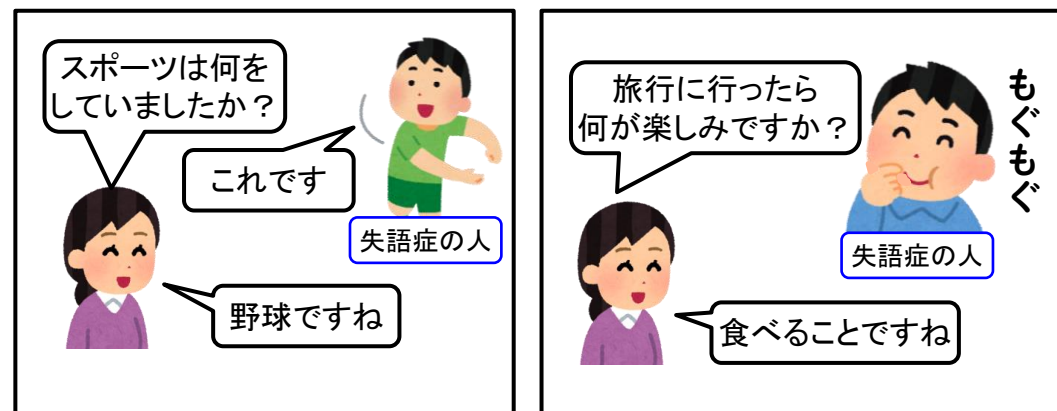
コミュニケーションボード・ノート

失語症の人が、普段から良く意思表示している表現を絵や写真でボードなどを作って、指差して意思表示してもらいます。



4. 絵を描いたり身振りなど非言語的手段を活用してもらう

言葉を言ってもらうのではなく、絵や身振りで教えてもらいます。



4. 失語症の人への対応：(6)話の内容確認

失語症の人は、言葉を言い間違えたり、言葉を聞き落したり、聞き誤ったりすることがあります。その中で、話し相手が思い込み、誤って推測して会話を続けてしまい、誤解が生じてしまいます。話し相手は適宜話の内容をお互いが正しく理解できているか確認する必要があります。

その際、以下のような対応が必要です。

1. 反対の表現で質問をする。
2. 文字や絵、身振りを使う。
3. 地図やカレンダーを活用する。

1. 反対の表現で質問をする

「はい」と返事をしたり、こちらの言葉を繰り返し言っても、聞き間違えていることがあります。同じ内容を反対の表現で質問して、理解を確認しましょう。



2. 文字や絵、身振りを使う

失語症の人は、聞くだけではなく、文字も見た方が理解しやすいです。仮名文字よりも漢字の方が得意です。絵や実物、身振りなども理解を助けてくれます。



3. 地図やカレンダーを活用する

地名や日にちを聞き逃したり、言えない失語症の人には、地図やカレンダーなど目で見ることができる道具を使うと、理解してもらいやすくなり、指さしで教えてくれます。



5. 失語症の人への生活支援:(1) 家族・友人

失語症の人は、家族や友人、周囲の方々と思い通りの会話ができなくてもどうかと思っています。また、家族など失語症の人と話す相手も同じようにもどうかと思っています。お互いを思う気持ちが、会話をスムーズにしてくれます。

対応方法

- ☐ 失語症の人とのコミュニケーション方法を知ると、コミュニケーションが楽になります。
- ☐ 失語症の人たちが集まる会に参加すると、他の家族の方々と情報交換することができ、支援に必要な情報を得ることができます。
- ☐ 失語症の人とゆっくりと会話できる時間をとりましょう。
- ☐ 言い誤りを何度も、言い直させないようにしましょう。

個々の失語症者に応じたコミュニケーションボード・ノートを準備

生活の中で必要なコミュニケーション情報については、個別性が高く、個人に応じたコミュニケーションボードを作ると、コミュニケーションが円滑になります。



本人が訴える内容を図で用意して、指差しで答えてもらう。



上段: 飲みたい飲み物を指さしてもらう。

下段: 行きたい場所を指さしてもらう。

5. 失語症の人への生活支援:(2) 仕事

仕事では言葉を使う場面が多くあります。失語症の人の言葉の障がいには個人差があります。失語症の人の症状を周囲で共有することは重要です。できることと、できないことを整理しましょう。

難しいことの例

- ☐ 電話対応
話を聞きながら、メモを取ることが難しくなります。
- ☐ 会議
複数の人たちが話しているのを聞き分けるのが大変です。
- ☐ 書類作成
文字を書くこと、タイピングが難しくなります。

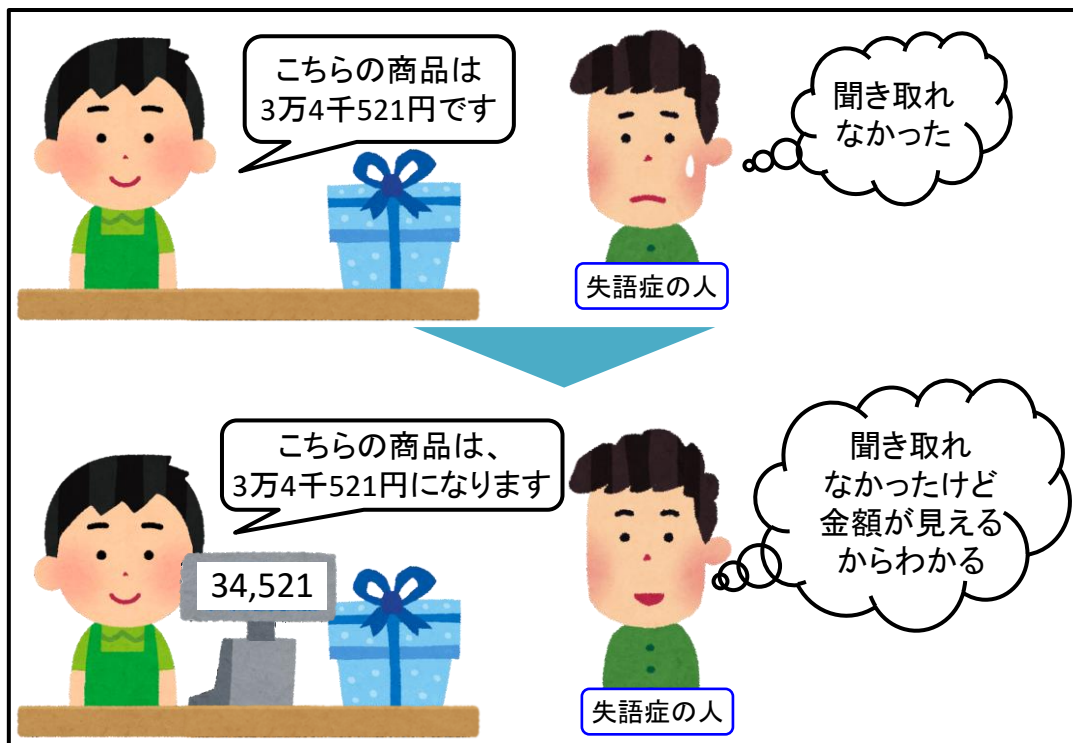
対応方法の例

- ☐ 業務指示などを伝えるときには、メモ用紙に要点を簡潔に書いて渡してください。
- ☐ できる仕事とできない仕事を把握してください。
- ☐ 仕事ができない場合には、指示された内容を理解できていないこともあります。内容を理解しているか、確認してほしいです。

5. 失語症の人への生活支援:(3)外出

買い物でのコミュニケーション援助

言葉で話すだけではなく、文字や数字で提示すると失語症の人は理解しやすいです。



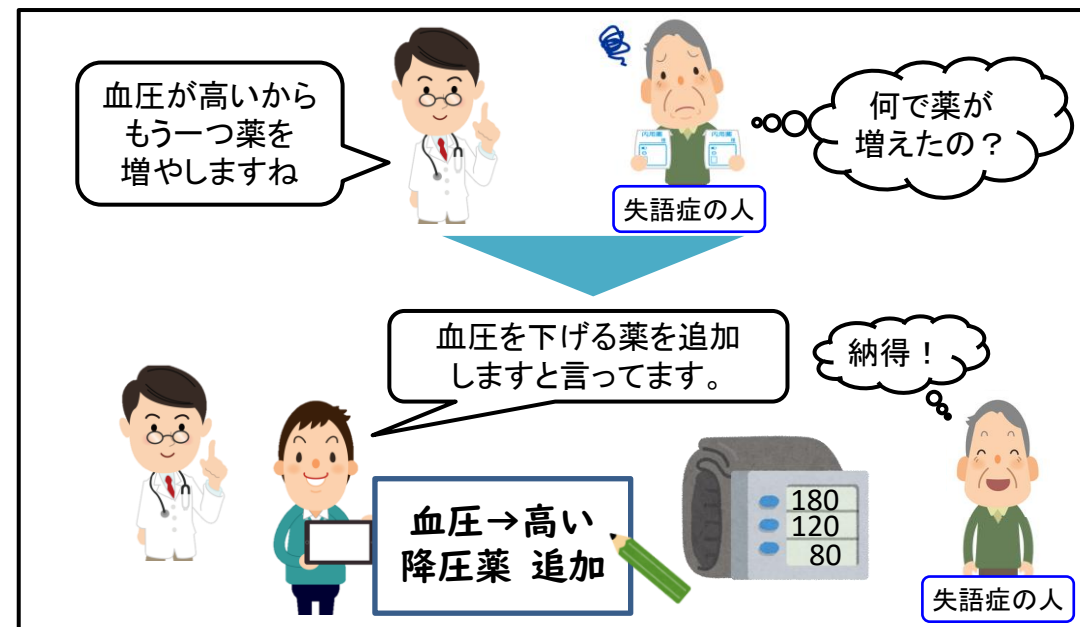
商品などの説明については、実物を見てもらいながら、文字を使いながら説明すると、失語症の人は理解しやすいです。



5. 失語症の人への生活支援:(3)外出

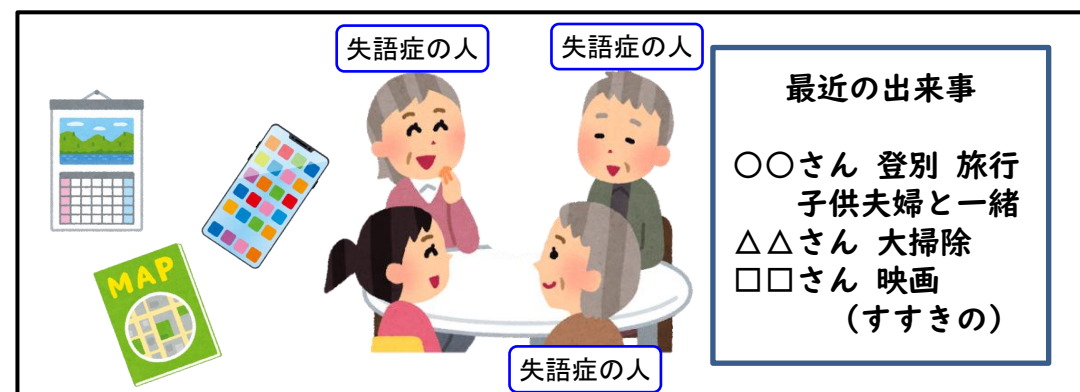
病院受診でのコミュニケーション援助

実物を見せたり、要約して単語で書いて伝えると伝わりやすいです。



当事者同士のコミュニケーション援助

失語症の人同士での会話の橋渡しをするには、視覚的に見て確認できる資料を提示したり、要点を単語で書いて示したりすると、失語症のみんなが理解できて、楽しくお話しできます。



6. 失語症の人たちが集まる会（2024年2月1日時点）

失語症の人は交流の機会が減り、社会参加が難しくなりがちです。失語症の人たちが集まる場所が、札幌市にはいくつかあります。そこには笑顔の失語症の人たちがたくさんいます。ぜひご参加ください。

失語症の人たちの集まり

1. さっぽろ失語症カフェ
2. 北海道失語症友の会「北の会」
3. アカシアの会
4. 失語症者と家族の為のこみりハ教室

1. さっぽろ失語症カフェ

失語症の人、支援する人、誰もが気軽に集まる失語症カフェです。楽しく、安心しておしゃべりを楽しんでもいただけます！様々な年代の人が参加しています。

日時 毎月第3土曜日 午前10時～午後12時
開催日が変わる場合もあり、ご参加希望者はご連絡ください。

会場 札幌市身体障害者福祉センター 2階 大会議室
札幌市西区二十四軒2条6丁目

参加費 無料

連絡先 (一社)北海道言語聴覚士会意思疎通支援部
電話 070-1253-8669
E-mail: shien@st-hokkaido.jp

主催 一般社団法人北海道言語聴覚士会

<さっぽろ失語症カフェに参加した失語症の人からの声>



活動の場が広がった

カフェに来るのが楽しみ！



同じ失語症の〇〇さんと一緒にランチに行く約束をしました



あっという間に終わってしまう
まだまだしゃべりたい



言葉をうまく引き出してくれる
支援者がいるので助かる



<失語症の人の家族からの声>

同じような状況の家族とお話できて
気持ちが救われるときがあります



2. 北海道失語症友の会「北の会」

2(1)失語症「言葉の教室」

失語症障がいのある方を対象に、医師や言語聴覚士によるリハビリを行い、社会復帰の促進を図っています。

日時 毎月第1土曜日 午後1時～午後3時30分

会場の都合により変更する場合があります。

会場 札幌市身体障害者福祉センター 2階 大会議室
札幌市西区二十四軒2条6丁目

参加費 無料

連絡先 北海道失語症友の会「北の会」事務局(担当 阿部)

電話 011-272-3030

E-mail kitanokai_sapporo@yahoo.co.jp

2(2)北海道失語症友の会「北の会」

失語症障がいを抱えた方の社会生活や社会復帰のための情報交換を行っています。

連絡先 (1)と同じ

年会費 2,000円

3. アカシアの会

病院で行う「言語訓練」とは違う「生きた会話」の実践場として、楽しくおしゃべりをする時間と場所を提供しています。「言葉がうまく使えない方たちの会」とは思えないほど、毎日にぎやかです。社会参加への第一歩としてアカシアの会に参加されませんか？

日時 毎月隔週水曜日 午後1時15分～午後3時30分

会場 北海道難病センター(札幌市中央区南4条西10丁目)

参加費 1回 2,000円(保険料、茶菓代、レクレーション材料費含)

連絡先 「アカシアの会」事務局

電話:011-558-0450 FAX:011-558-0900

E-mail: info@re-relife.org

見学や参加をご希望の方はご連絡ください。電話の場合、留守番電話にご連絡先を入れてください。折り返しご連絡いたします。

主催 NPO法人地域リハ実践プロジェクトりらいふ

4. 失語症者と家族の為のこみりハ教室

失語症の方ご本人とご家族が一緒に参加・交流できる教室で、フリーストークや失語症のリハビリを兼ねたゲームを行っています。ご自分にあったコミュニケーションの方法を見つけたり、試すことが出来る場です。

日時 毎月第3土曜日午後2:30～4:30(休憩あり)

会場 スーパーアークス 菊水店 2階 コミュニティホール
札幌市白石区菊水3条5丁目2-25

参加費 2,000円(ご家族はお一人につき1,000円です)

連絡先 NPO法人失語症サロンいーたいむ

電話:011-312-5422 FAX:011-312-0964

E-mail: mail@salon-etime.com

* 初めてのの方は、事前にメール又は電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

主催 NPO法人失語症サロンいーたいむ



7. 失語症者向け意思疎通支援者の派遣

失語症の人の会話を支援する「意思疎通支援者」を養成し、派遣する事業が札幌市で行われています。意思疎通支援者は、失語症の人の外出先での会話をお手伝いします。失語症の人に、意思疎通支援者の派遣をご利用いただきたいです。

失語症者向け意思疎通支援者とは

失語症の人とお相手との会話を支援（通訳）する役割を担います。一定の知識と技能を有し、失語症の人を支援する人です。支援者は、病院受診・買い物・役所での手続き等の日常生活の外出において、失語症の人が意思疎通に不便を感じないように、支援方法を養成研修で学んでいます。

意思疎通支援者を派遣します

利用できる人

意思疎通に苦勞する失語症の人 北海道在住者
※身体障害者手帳、診断書等で失語症の有無を確認します。

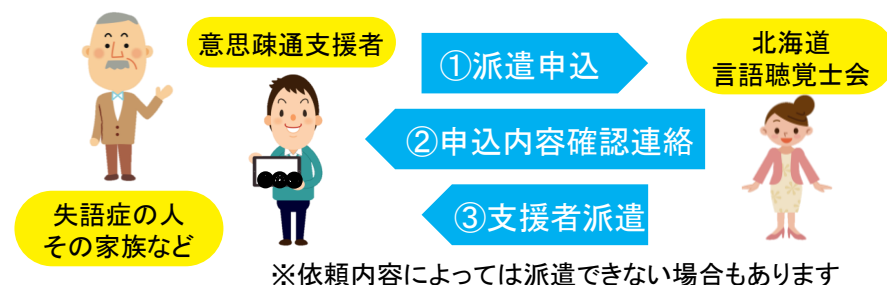
派遣費用

無料（派遣先の施設使用料については利用者の負担です）

派遣先

失語症カフェ、失語症友の会、会話サロン、買い物、通院、会議、相談所、趣味活動、習い事等への外出
役場、銀行、契約等の各種申請手続き など
※詳しくは下記問い合わせにご連絡ください

派遣の流れ

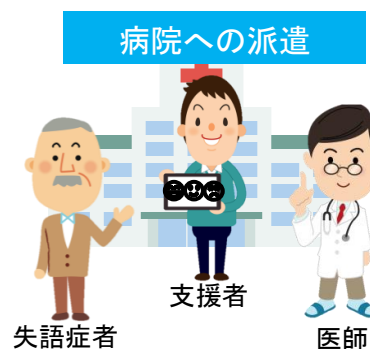


連絡先

（一社）北海道言語聴覚士会 意思疎通支援部
電話 070-1253-8669
E-mail: shien@st-hokkaido.jp

基本的支援・派遣内容

- ☐ 外出支援
外出に同行し、他者とのコミュニケーションを援助します。
- ☐ 交通機関利用援助
目的地に向かうために駅・バス停などを利用する場合、路線図や表示板などを読んで理解することを援助します。
- ☐ 買い物・娯楽施設（習い事、コンサートなど）利用援助
購入に関する援助・受付、書類記入などを援助します。
- ☐ 公共施設の利用援助
銀行・役所・郵便局などに同行して、手続きなどを援助します。
- ☐ 病院等の受診援助
病院受診に同行し、医師・薬剤師とのコミュニケーションや受付での手続き、会計などを援助します。
- ☐ 会・会議での内容理解援助
会議などに出席するときに周囲で話されている内容を分かりやすく失語症の人に伝えます。意見がある時は話すことを援助します。
- ☐ 他の失語症の人とのコミュニケーション援助
失語症友の会などに同行し、コミュニケーションを援助します。



8. 失語症の人の思い

失語症の人は、失語症であることで、以下のような思いを持ちながら生活しております。最後に失語症ある人の思いを知っていただけますと幸いです。

言いたいことが上手く話せない

話しかけられてもわからない

話しかけられても上手く答えられない

思っていることが書けない

外出して人と会っても上手く会話ができない

伝えたい思いを受け取ってほしい

私のペースで会話させてほしい

人と話すのが怖い

変な人と思われたら嫌だ

記憶力や判断力はちゃんとしていることを分かってほしい

駅やバス停での表示が分からないので出かけられない

役所や銀行から送られてくる書類の意味が分からない



参考資料等

本ガイドブックの作成においては、一般社団法人日本言語聴覚士協会が作成した、「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修テキスト」を参考にいたしました。





失語症の人との コミュニケーション支援 ガイドブック



さっぽろ市
01-F04-24-38
R6-1-31

作成／一般社団法人 北海道言語聴覚士会

発行／札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL:011-211-2936 FAX:011-218-5181